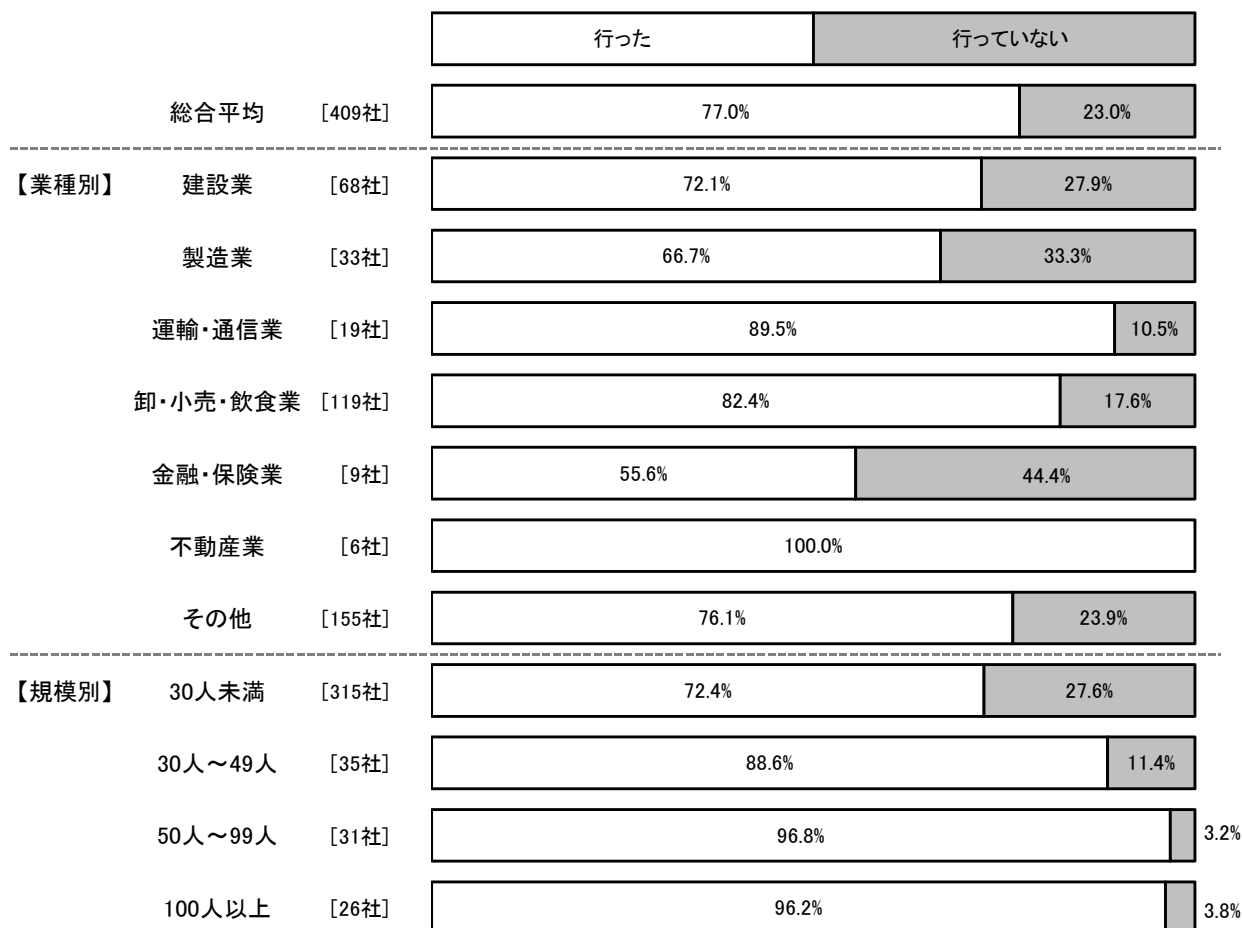


## 求人の有無

求人を行った事業所は全体の約8割弱。

業種別にみると、「運輸・通信業」「卸・小売・飲食業」では8割以上の事業所で求人を行っている。  
また規模別にみると大規模事業所ほど求人を行った事業所が多くなっている。



※比率はアンケート回収事業所に占める割合

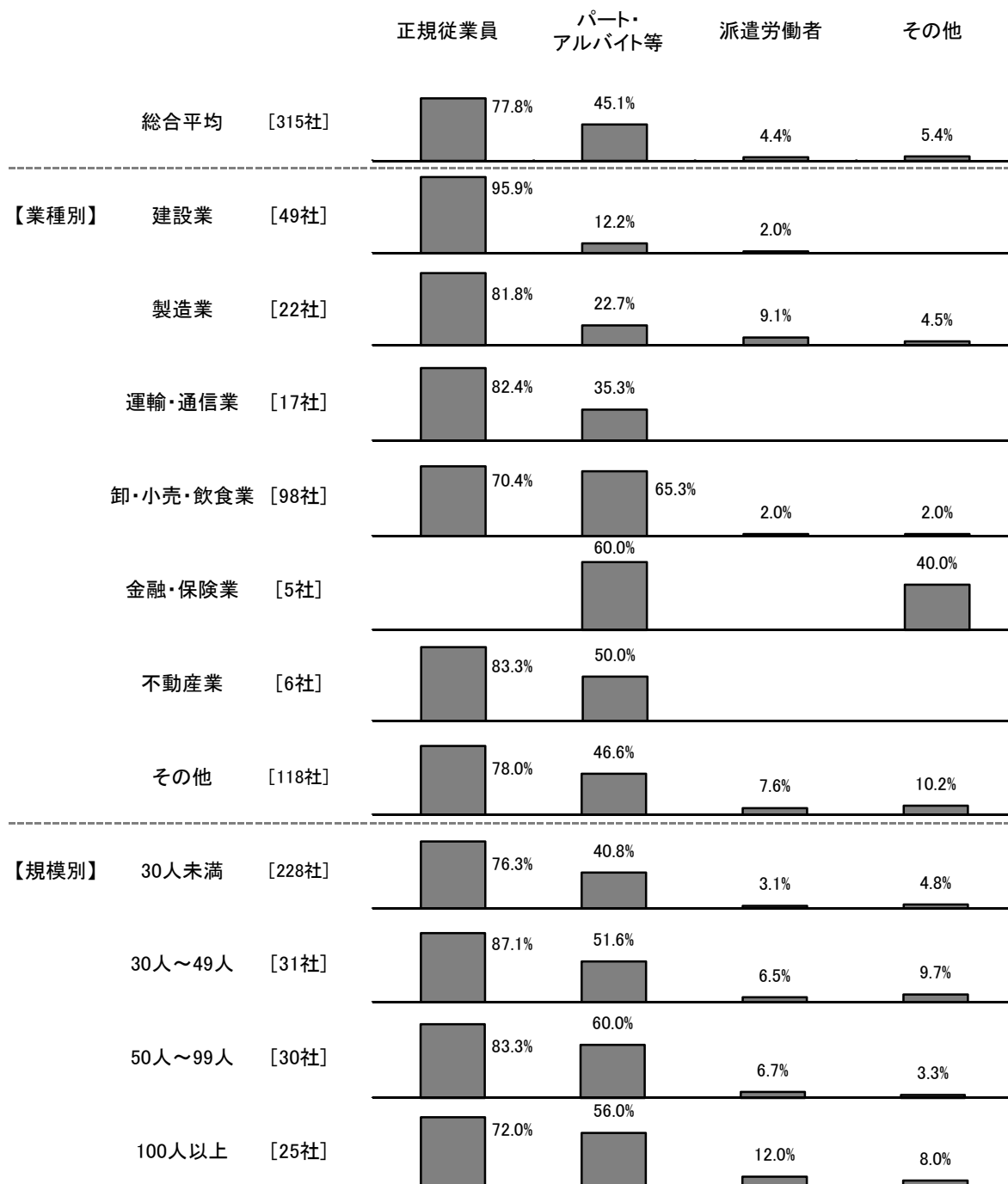
※[ ]内の数値はH26アンケート回収事業所数

## [4 求人の状況]

### 求人した雇用形態

求人した雇用形態は「正規従業員」が最も多い。

総合平均では「正規従業員」の雇用が77.8%で最も多く、次いで「パート・アルバイト等」が45.1%で続く。「正規従業員」は「建設業」(95.9%)が多く、「パート・アルバイト等」は「卸・小売・飲食業」(65.3%)で多くなっている。



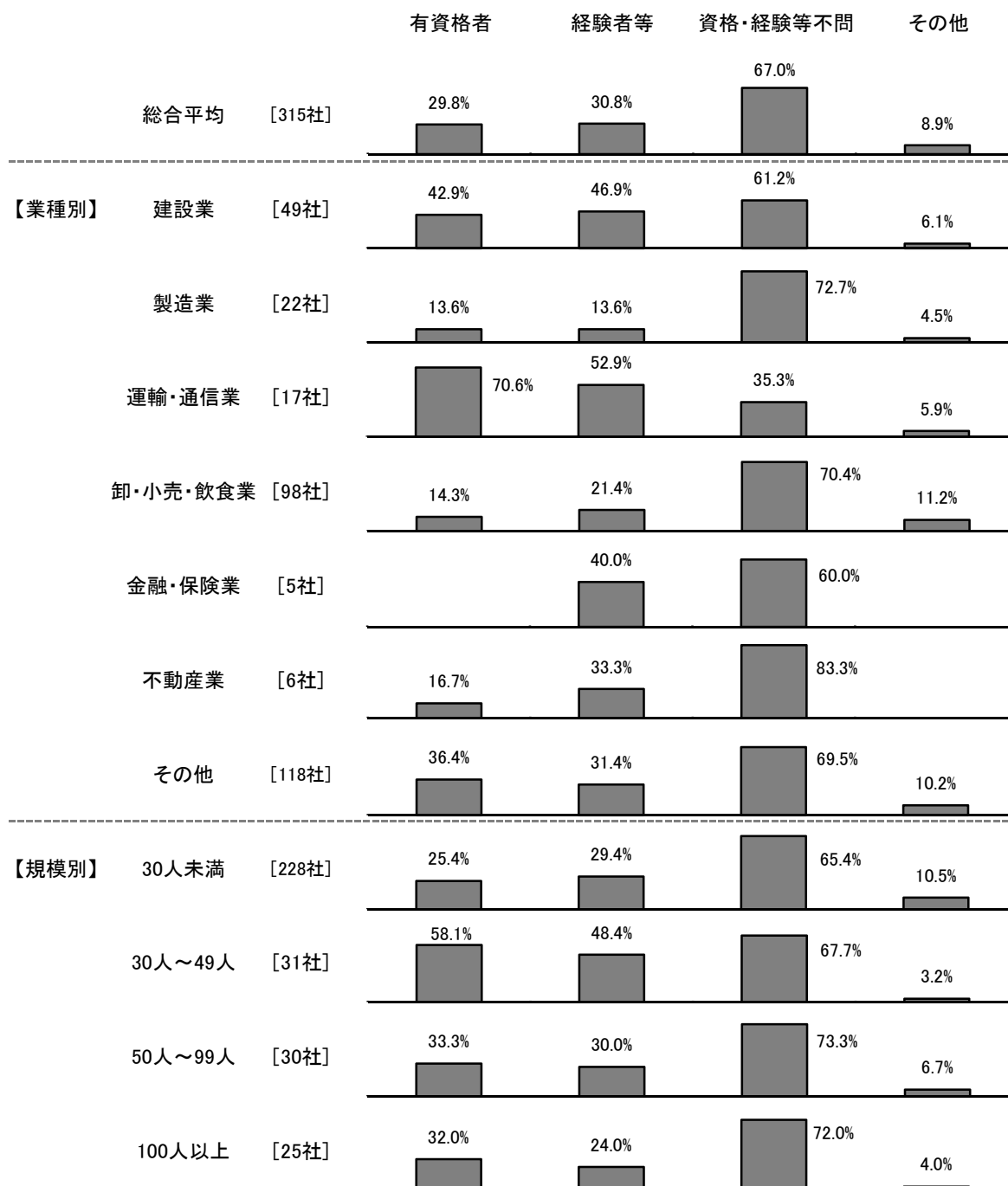
※比率は求人を行った事業所に占める割合

※[ ]内の数値は求人を行った事業所数

## 求人した人材

求人には「資格・経験等不問」が67.0%で最も多い。

「資格・経験等不問」は、業種、規模別を問わず全般に多くなっている。また「有資格者」「経験者等」については、「運輸・通信業」で比較的多い。



※比率は求人を行った事業所に占める割合

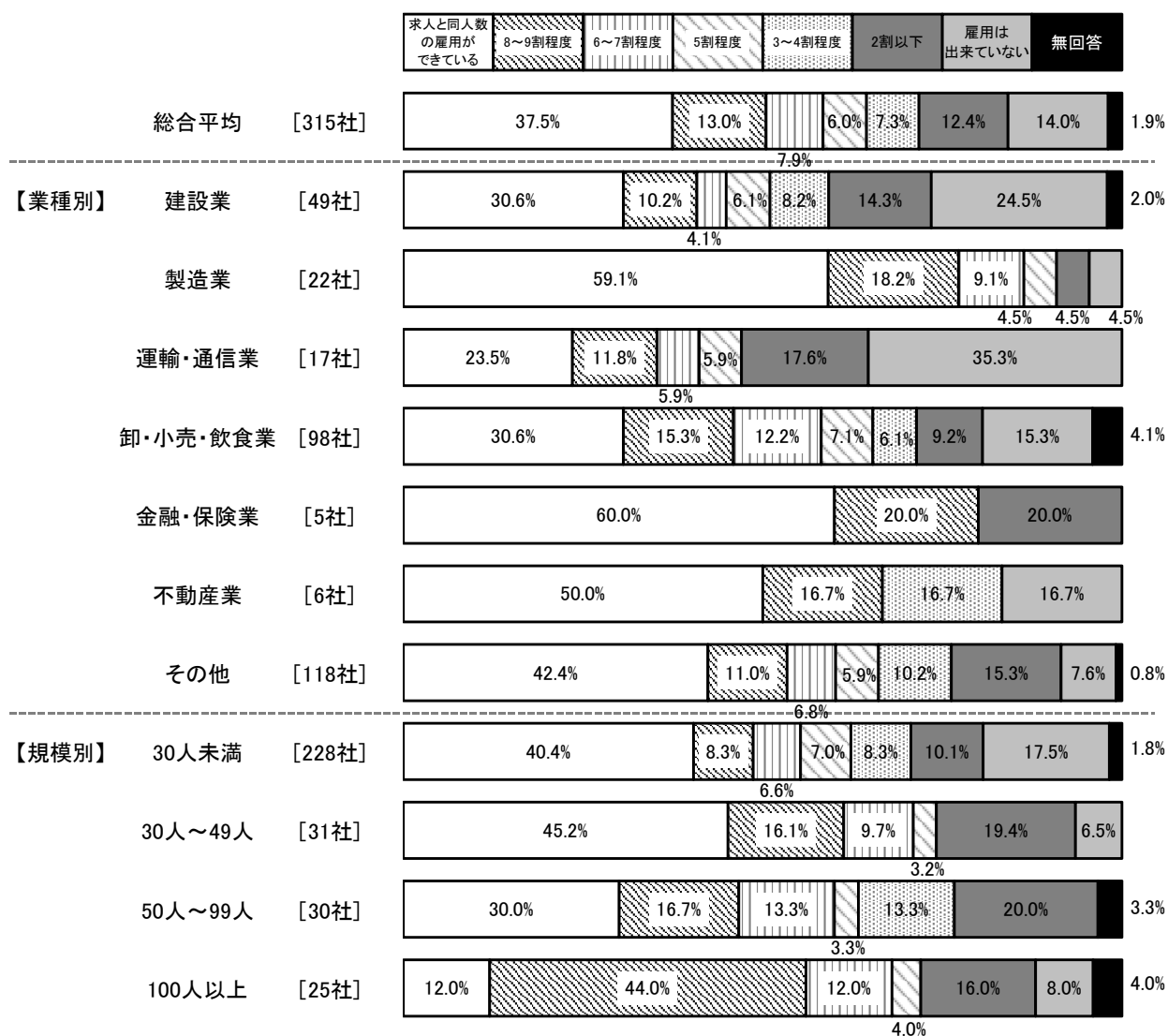
※[ ]内の数値は求人を行った事業所数

## [4 求人者の状況]

# 求人に対しての雇用の割合

過半数の事業所で、求人に対して8割以上の雇用を確保。

「求人と同程度の雇用」ができたのは「製造業」(59.1%)が多い。一方、「運輸・通信業」では「2割以下・できてない」とする回答が多くなっている。規模別では概ね小規模事業所ほど「求人と同程度の雇用」ができたとする回答が多い。



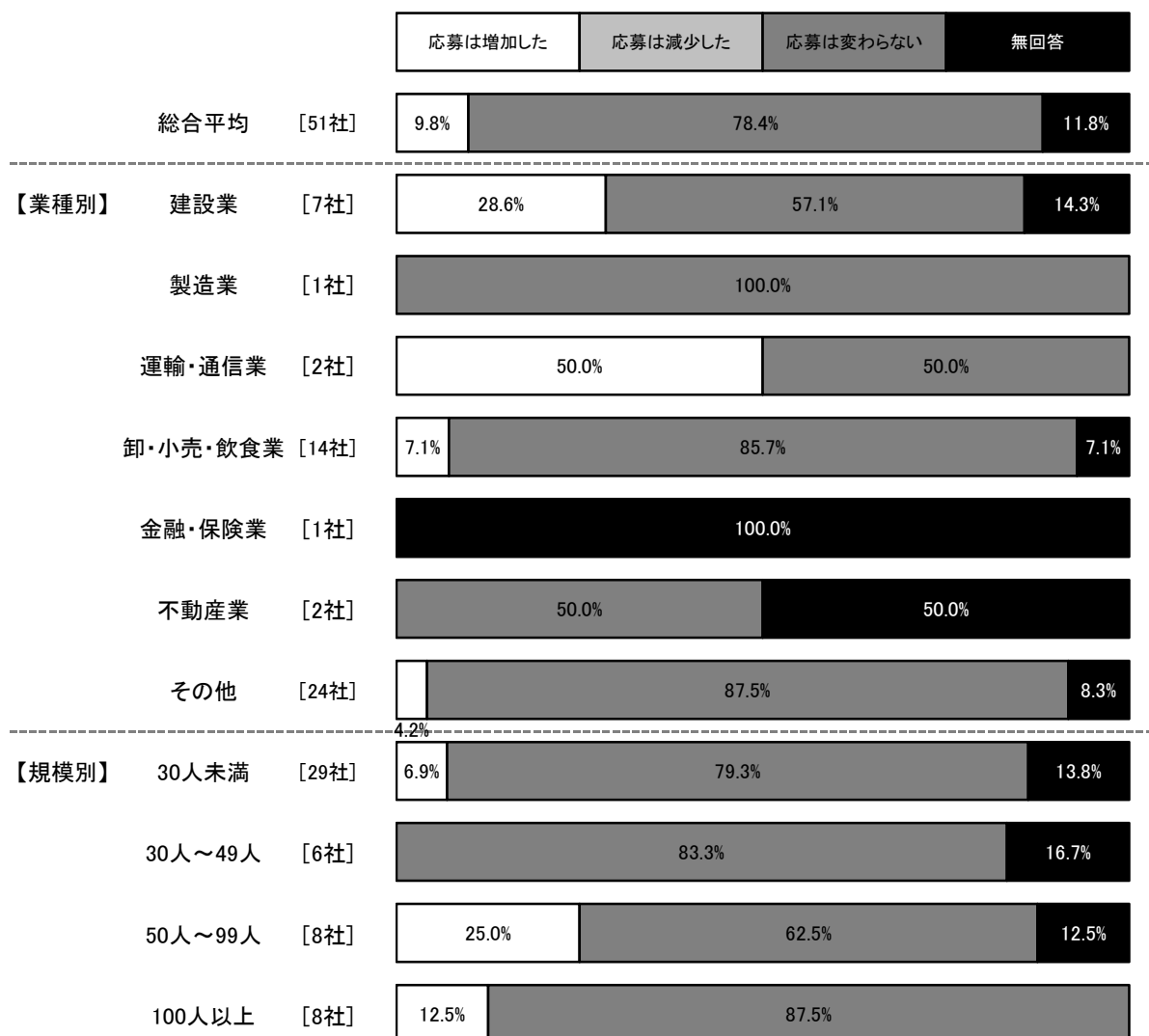
※比率は求人を行った事業所に占める割合

※[ ]内の数値は求人を行った事業所数

## 取組による求人への応募状況への影響

若年層定着への取組で、応募が増加したのは9.8%にとどまった。

増加したとの回答は「建設業」(28.6%)および規模別の「50～99人」の事業所で比較的多くなっているが、全体に低調である。(※ 全体に母数が少ないため参考数値)



※比率は取組を行った事業所に占める割合

※[ ]内の数値は、問9の自由回答に回答した事業所から、「特に何もしてない」などの回答を省いた、何らかの若年者(新卒)の定着率を向上させる取組を行っている事業所数